

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			クリエイター				
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C101	ファッションデザイン I							30				
担当教員	上山 恵加				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	イタリアの服飾専門学校で学び、その後アシスタントデザイナーとしてミラノコレクションに参加。その後日本のアパレルデザイナー職を経て教員として入職。授業ではイタリアで学んだ知識を生かしデザイン発想や、様々な視点でのリサーチを行い、企業とのコラボレーション企画などを通し商品企画につなげている。										
講義目的												
ファッションデザインの基礎となる、様々なテーマを元にインスピレーションから発想し、デザイン展開の方法を学ぶ。												
授業内容												
デザインの発想方法(様々なテーマからのインスピレーション)を学び、ディテールの知識(襟やポケット、袖の形状など)を用い、スカート・ブラウス・ワンピースのデザインを実践する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	デザインについて講義					・授業内容についての説明					
2	5	イメージデザイン① 発想の手法					<ul style="list-style-type: none"> ・説明 ・スケッチ、ペルソナ決定、コンセプト立案 ・デザイン展開 ・ディテールリサーチ ・スカート研究 ・スカートのデザイン展開 ・マップ作成 					
3	6	イメージデザイン② 発想の手法					<ul style="list-style-type: none"> ・説明 ・スケッチ、ペルソナ決定、コンセプト立案 ・デザイン展開 ・アトリサーチからのデザイン展開 ・ディテールリサーチからのデザイン展開 ・アイテム展開 ・マップ作成 					
4	18	イメージデザイン③ デザインワンピースの発想1					<ul style="list-style-type: none"> ・説明 ・スケッチ、ペルソナ決定、コンセプト立案 ・デザイン展開 ・アトリサーチからのデザイン展開 ・ディテールリサーチからのデザイン展開 ・ワンピースリサーチ(トレンド、ディテール、素材など) ・ワンピースリサーチからのデザイン展開 ・デザイン確定、素材選び 					
留意事項												
繰り返しの練習が上達の条件であり、授業時間外の取り組みも重要である。 欠席した場合は次回の授業までに課題を終わらせておくことが必須。												
教材												
文化服装学院研究企画委員会・編「服飾図鑑」(文化服装学院)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
テーマからデザインまで一貫したストーリー構成でデザインを企画。またそれらをマップとして作成し、ポートフォリオにまとめる。				課題テーマを決めテーマに沿ったデザイン展開とトレンドを意識したデザイン発想をする。				取組姿勢		30%		
								提出物/期限遵守		40%		
								習熟度(到達目標に対して)		30%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			クリエイター				
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C101	ファッションデザイン I							30				
担当教員	上山 恵加				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	イタリアの服飾専門学校で学び、その後アシスタントデザイナーとしてミラノコレクションに参加。その後日本のアパレルデザイナー職を経て教員として入職。授業ではイタリアで学んだ知識を生かしデザイン発想や、様々な視点でのリサーチを行い、企業とのコラボレーション企画などを通し商品企画につなげている。										
講義目的												
ファッションデザインの基礎となる、様々なテーマを元にインスピレーションから発想し、デザイン展開の方法を学ぶ。												
授業内容												
デザインの発想方法(様々なテーマからのインスピレーション)を学び、ディテールの知識(襟やポケット、袖の形状など)を用い、スカート・ブラウス・ワンピースなどのデザインを実践する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
4	10	イメージデザイン④ デザインワンピースの発想2					<ul style="list-style-type: none"> ・アイテム展開 ・テクニック、素材研究 ・スタイリング展開 ・ポートフォリオ作成 					
5	20	イメージデザイン⑤ 発想の手法					<ul style="list-style-type: none"> ・民族学博物館見学 ・説明 ・スケッチ、ペルソナ決定、コンセプト立案 ・デザイン展開 ・アトリサーチからのデザイン展開 ・ディテールリサーチからのデザイン展開 ・テクニック、素材研究 ・スタイリング展開 ・マップ作成 					
留意事項												
繰り返しの練習が上達の条件であり、授業時間外の取り組みも重要である。欠席した場合は次回の授業までに課題を終わらせておくことが必須。												
教材												
文化服装学院研究企画委員会・編「服飾図鑑」(文化服装学院)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
テーマからデザインまで一貫したストーリー構成でデザインを企画。またそれらをマップとして作成し、ポートフォリオにまとめる。				課題テーマを決めテーマに沿ったデザイン展開とトレンドを意識したデザイン発想をする。				取組姿勢		30%		
								提出物/期限遵守		40%		
								習熟度(到達目標に対して)		30%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			クリエイター				
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C102	ファッションドローイング I							30				
担当教員	豊根 三恵子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	服飾専門学校にて教員として勤務、その後フリーファッションイラスト講師として40年間多数の学校に従事し、現在はスタイル画の基礎を中心にバランスのとり方や様々な画材を使った着色方法など指導。										
講義目的												
ファッションドローイングの基礎となる人体の描き方や、素材の表現方法を学ぶ。												
授業内容												
人体の構造を理解し、ヌードデッサンし、着装する方法を学ぶ。その為に、静物を観察し、デッサンし、短時間で描く方法をクロッキーによって学ぶ。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	ドローイング概論					<ul style="list-style-type: none"> ・静物デッサン ・ファッションモデルデッサン 					
2	10	ファッションドローイングの基礎 ①					<ul style="list-style-type: none"> ・基本プロポーションの描き方 正面 ・ポーズバリエーション①～④ ・顔、手、足の描き方 ・全身のバランス及び肉付け 					
3	4	ファッションドローイングの基礎 ②					<ul style="list-style-type: none"> ・着装 シワの描き方 ・着装 スカートの描き方 ・着装 衿、袖の描き方 					
4	2	ワンピースを描く					<ul style="list-style-type: none"> ・着装 シワの入り方を学びシワを描く 					
5	2	テーラードを描く					<ul style="list-style-type: none"> ・着装 ラペルを描く ・着装 スーツを描く 					
6	2	ファッションドローイングの基礎 ③					<ul style="list-style-type: none"> ・ポーズバリエーション⑤、⑥ 					
7	2	クロッキー					<ul style="list-style-type: none"> ・実際のモデルを前にして、描いてみる①② 					
8	4	ハンガーイラストの基礎					<ul style="list-style-type: none"> ・ハンガーイラストの描き方①～④ 					
9	2	基礎まとめ					<ul style="list-style-type: none"> ・時間内で表現したいものを描いてみる 					
留意事項												
繰り返し練習する事が上達の必修条件であり、授業時間外の取り組みも重要である。欠席した場合は、次回授業までに課題を終わらせておく事。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座4 ファッションデザイン画」(文化出版局)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
洋服に合わせた人体の動きを考慮し、いろいろなポーズのバリエーションを表現する事が出来る。				用具使用法 描画方法 説明と実践				課題提出		100%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C102	ファッションドローイング I							30				
担当教員	豊根 三恵子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	服飾専門学校にて教員として勤務、その後フリーファッションイラスト講師として40年間多数の学校に従事し、現在はスタイル画の基礎を中心にバランスのとり方や様々な画材を使った着色方法など指導。										
講義目的												
ファッションドローイングの基礎となる人体の描き方や、素材の表現方法を学ぶ。												
授業内容												
人体の構造を理解し、ヌードデッサンし、着装する方法を学ぶ。その為に、静物を観察し、デッサンし、短時間で描く方法をクロッキーによって学ぶ。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	ファッション画コンクール					<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿ったデザイン画の作成 ・着色 					
2	8	カラーマーカー					<ul style="list-style-type: none"> ・特徴を知る ①② ・光と影の練習 ①② ・柄の練習 ①② ・全身着色で仕上げる ①② 					
3	8	デザイナーズカラー(水彩画)					<ul style="list-style-type: none"> ・特徴を知る ①② ・光と影の練習 ①② ・柄の練習 ①② ・全身着色で仕上げる ①② 					
4	8	デザイナーズカラー(ベタ画)					<ul style="list-style-type: none"> ・特徴を知る ①② ・光と影の練習 ①② ・柄の練習 ①② ・全身着色で仕上げる ①② 					
5	2	ファッションモデルデッサン					<ul style="list-style-type: none"> ・モデルデッサン ①② 					
6	2	クロッキー					<ul style="list-style-type: none"> ・実際のモデルを前に描いてみる ①② 					
留意事項												
繰り返し練習する事が上達の必修条件であり、授業時間外の取り組みも重要である。欠席した場合は、次回授業までに課題を終わらせておく事。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座4 ファッションデザイン画」(文化出版局)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
洋服に合わせた人体の動きを考慮し、いろいろなポーズのバリエーションを表現する事が出来る。				用具使用法 描画方法 説明と実践				課題提出		100%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			クリエイター				
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C103	パターンプロダクト I							90				
担当教員	上田 秀美				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	繊維商社、企画会社にて婦人服パタンナーとして勤務。通販ブランドなど様々な企業のパターンを担当してきた経験を生かし、学生指導にあたる。										
講義目的												
原型の成立ちから各アイテムの製図理論と服飾造形の基礎知識を学び、平面製図を理解しながら応用力を身につける。												
授業内容												
スカート・ブラウスの基礎パターンや工業用パターンなど製作までの過程を学び、各アイテムの基礎と応用を実践する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	パターンメイキングの基礎					各部名称。採寸の仕方。定規の使い方					
2	2	スカート原型					スカート原型の成り立ちと製図方法					
	2	スカート原型					シーチング組み立て					
3	2	スカート基礎					セミタイトスカート製図法					
4	2	スカート基礎					フレアスカート製図法					
5	2	スカート基礎					ギャザースカート製図法					
6	4	スカート基礎					ヨーク切り替えスカート製図法					
7	2	スカート基礎					ゴアードスカート製図法					
8	14	スカート応用					各自のデザインから応用パターン実習					
	6	スカート応用					工業用パターン及び指示書の作成					
9	4	身頃原型					ストレートスローパー作図方法					
	4	身頃原型					シーチング組み立て					
10	5	ブラウス基礎					ブラウス①製図法					
11	5	ブラウス基礎					ブラウス②製図法					
12	4	ブラウス基礎					ブラウスシーチング組み立て					
13	6	ブラウス基礎					ブラウス③製図法					
14	6	ブラウス基礎					シャツ製図法					
15	10	ブラウス応用					ブラウス研究から応用パターン実習					
	4	ブラウス応用					工業用パターン及び指示書の作成					
16	2	身頃原型					タイトスローパー作図方法					
留意事項												
教材												
大阪文化服装学院編「パターンメイキング」(大阪文化服装学院) 大阪文化服装学院編「工業用パターンメイキング」(大阪文化服装学院)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
軽衣料(スカート、ブラウス)の基本製図を習得し、多種多様なデザインに対応できる応用力を身につける。				講義 課題作成				提出物/期限厳守		70%		
								取組姿勢		20%		
								習熟度(到達目標に対して)		10%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C103	パターンプロダクト I							90				
担当教員	上田 秀美				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	繊維商社、企画会社にて婦人服パタンナーとして勤務。通販ブランドなど様々な企業のパターンを担当してきた経験を生かし、学生指導にあたる。										
講義目的												
原型の成立ちから各アイテムの製図理論と服飾造形の基礎知識を学び、平面製図を理解しながら応用力を身につける。												
授業内容												
ワンピース・パンツの基礎パターンや工業用パターンなど製作までの過程を学び、各アイテムの基礎と応用を実践する。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	身頃パターン操作理論					ダーツ応用のデザインパターン製図法					
2	4	ワンピース基礎					シフト型ワンピース製図法					
3	6	ワンピース基礎					ウエスト切替ワンピース製図法					
4	6	ワンピース基礎					プリンセスラインワンピース製図法					
5	2	テスト					後期テスト					
6	32	ワンピース応用					デザインワンピースパターン作成・シーチング組立て					
7	6	PM検定3級対策講座					過去問題からPM検定対策					
8	10	ワンピース応用					工業用パターン及び指示書の作成					
	4	ワンピース応用					パターン修正・裁断					
9	2	パンツ基礎					パンツ原型の成り立ち・スリムパンツ製図法					
10	3	パンツ基礎					ワイドパンツの製図法					
11	3	パンツ基礎					ベルボトムパンツの製図法					
12	2	パンツ基礎					ニッカーボッカーの製図法					
13	2	パンツ基礎					パンツ工業用パターン説明					
14	6	グレーディング					グレーディングの知識(スカート・ブラウス操作法)					
留意事項												
教材												
大阪文化服装学院編「パターンメイキング」(大阪文化服装学院) 大阪文化服装学院編「工業用パターンメイキング」(大阪文化服装学院)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
軽衣料(スカート・ブラウス)の基本製図を習得し、多種多様なデザインに対応できる応用力を身につける。				講義 課題作成				提出物/期限厳守		70%		
								取組姿勢		20%		
								習熟度(到達目標に対して)		10%		

学科名	ファッション・クリエイター				コース名	クリエイターコース						
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C104	サンプルメイキング I							60				
担当教員	水間 正子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	婦人服アパレルで展示会用サンプル縫製を担当した教員が、縫製技術を指導。										
講義目的												
服作りの基礎となる縫製技術を学び、部分縫いから作品制作までを通して応用力を身につける。												
授業内容												
工業用ミシン、ロックミシンを使った直線縫い、縫い代始末やまつり縫いの技術で、ファスナー・ベルト付きスカートを作成する。また、採寸方法やアイロンの扱いについても技能指導を行う。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容				学習課題						
1	2	ミシンについて				ミシンの構造から糸かけ、縫い方の練習						
2	2	ロックミシンについて				ミシンの構造から糸かけ、縫い方の練習						
3	2	縫い代始末				様々な縫い代始末方法の練習						
4	4	スカート部分縫い				裁断の仕方 ファスナー付け、ベルト付け練習						
5	4	セミタイトスカート				ファスナー付け パッチポケット付け						
6	4	セミタイトスカート				ベルト付け 裾始末						
7	4	ギャザー				ギャザーの入れ方 巻きロック方法						
8	2	パンツ明き部分縫い				パンツ明きファスナー付け						
9	2	裏地ファスナー付け部分縫い				裏地ファスナー付け						
10	6	裏地付きスカート部分縫い				裏地ファスナー付け ウエスト始末練習						
11	14	応用スカート				縫製①②③④⑤⑥⑦						
12	2	ブラウス部分縫い				シャツカラー付け						
13	4	ブラウス部分縫い				袖口見返し明き ギャザー袖						
14	2	ブラウス部分縫い				袖口パイピング明き セットイン袖						
15	4	ブラウス部分縫い				フラットカラー付け 比翼明き						
留意事項												
教材												
大阪文化服装学院編「サンプルメイキング」(大阪文化服装学院)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
服作りの基礎となる、縫い方やまつり縫い、アイロン掛けについて理解し、セミタイトスカート、デザインスカートを作り上げることができる				講義 課題作成				提出物/期限厳守		80%		
								取組姿勢		10%		
								習熟度(到達目標に対して)		10%		

学科名	ファッション・クリエイター				コース名			クリエイターコース				
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C104	サンプルメイキング I							60				
担当教員	水間 正子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	婦人服アパレルで展示会用サンプル縫製を担当した教員が、縫製技術を指導。										
講義目的												
服作りの基礎となる縫製技術を学び、部分縫いから作品制作までを通して応用力を身につける。												
授業内容												
直線縫いからファスナー付け、衿付け、袖付けなど服作りの基礎となる縫製技術の習得。 素材の扱い方からアイロンのかけ方、まつり縫いなど様々な服作りの基礎を学ぶ。 部分縫いから作品制作まで行い、応用力を身につける。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	2	台衿付きシャツ					パッチポケット付け 前立て付け					
2	2	台衿付きシャツ					ヨーク付け 衿付け					
3	4	台衿付きシャツ					ケンボロ付け 袖付け					
4	4	台衿付きシャツ					カフス付け ボタンホール ボタン付け					
5	12	応用ブラウス					縫製①②③④					
6	2	パンツ					脇切り替えポケット					
7	2	パンツ					シームポケット					
8	2	パンツ					パンツ組み立て ファスナー付け					
9	2	パンツ					ベルト付け ベルトループ付け					
10	2	裏地付きパンツ部分縫い					パンツ組み立て					
11	2	裏地付きパンツ部分縫い					ファスナー付け 裏地付け					
12	2	裏地付きパンツ部分縫い					まつり縫い					
13	2	ワンピース部分縫い					ウール素材の扱い方 裁断方法					
14	4	ワンピース部分縫い					裏地付き衿付け					
15	16	デザインワンピース					縫製①②③④⑤⑥⑦⑧					
留意事項												
教材												
大阪文化服装学院編「サンプルメイキング」(大阪文化服装学院)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
服作りの基礎となる、縫い方やまつり縫い、アイロン掛けについて理解し、ブラウス、パンツ、ワンピースを作り上げることができる。				講義 課題作成				提出物/期限厳守		80%		
								取組姿勢		10%		
								習熟度(到達目標に対して)		10%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			クリエイター				
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C105	立体裁断 I							15				
担当教員	濱崎 幸子				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	アパレルでMD、デザイナーとして勤務、その後独立。オートクチュールを中心に多様なデザインワークに従事した教員がパターンメイキングについて指導する。										
講義目的												
立体構造の意味を学び、身体(立体)の構造を理解し、ダーツの適切な分量を知る。 また、衣服製作において地の目の必要性を学ぶ												
授業内容												
ボディー(人体)とトワール(地直しされたシーチング)を使い 立体構造を確認しながら ドレーピングによって制作し、平面パターンとして落とし込む												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	ストレートスローパー					地直し・立体裁断の心得・前身頃・後身頃のドレーピング					
	1						前身頃・後身頃のドレーピング・マーキング方法					
	2						袖パターン作成					
	2						袖付け(袖の振りとすわりについて説明)					
	1						ドレーピング再組み立てしシルエット確認					
	1						パターントレース・完成パターン作成					
2	1	ストレートスカート					前後スカートドレーピング					
	1						前後スカートドレーピング・マーキング					
	1						パターントレース					
	1						再組み立て・シルエット確認					
3	1	フレアスカート					前後スカートドレーピング・マーキング					
	1						パターントレース					
	1						パターントレース					
留意事項												
授業開始前にトワールを地直しして準備。裁ちバサミ、シルクピン、方眼尺は必携												
教材												
文化服装学院編「立体裁断・基礎編」(文化服装学院)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
平面製図とドレーピングのリンクができる。ドレーピングで制作したものを平面製図として落とし込める力を付け、見る目を養う				立体構造に対する講義内容を踏まえて実技を行う				完成トワール			80%	
								完成パターン			20%	

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C106	素材知識 I							15				
担当教員	丸山 美幸				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレルのチーフデザイナーとして、婦人服の複数ブランドを担当をへて高級婦人服プリントの企画と配色に従事。市場調査や流行分析、ブランドの市場への定着に積極的に取り組む。授業では、素材の基礎知識を販売～企画に活かせるよう指導										
講義目的												
ファッション業界の重要な基礎知識である素材の知識を習得し、ビジネス・クリエイティブそれぞれの分野において実践で活用できる事												
授業内容												
素材の種類、糸、生地についての講義。 素材によるシルエットや着心地の変化、取扱い方の違いを理解。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	オリエンテーション					カリキュラム説明、素材や生地について					
2	1	基本導入					生地の基本・繊維の分類					
3	1	天然繊維①					植物繊維					
4	1	天然繊維②					動物繊維					
5	1	化学繊維①					再生繊維					
6	1	化学繊維②					半合成繊維					
7	1	化学繊維③					合成繊維					
8	1	糸について①					糸の種類・紡績糸					
9	1	糸について②					糸の撚りや番手					
10	1	糸について③					複合糸・意匠糸					
11	1	織物について①					織物の3原組織					
12	1	織物について②					織物の変化組織、その他織物					
13	1	編物について①					編物の3原組織					
14	1	編物について②					その他の編み物組織					
15	1	復習テスト					前期復習					
留意事項												
講義で習った素材は触って覚えること。 素材感を実感する習慣をつける。 製品品質表示や下げラベルを意識して見ることを習慣づける。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座1 改訂版・アパレル素材論」(文化服装学院) 関間正雄編「テキスタイル事典」(ナツメ社)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
素材の特性を理解し、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明が出来るようになる。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C106	素材知識 I							7				
担当教員	丸山 美幸				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	大手アパレルのチーフデザイナーとして、婦人服の複数ブランドを担当をへて高級婦人服プリントの企画と配色に従事。市場調査や流行分析、ブランドの市場への定着に積極的に取り組む。授業では、素材の基礎知識を販売～企画に活かせるよう指導										
講義目的												
ファッション業界の重要な基礎知識である素材の知識を習得し、ビジネス・クリエイティブそれぞれの分野において実践で活用できる事												
授業内容												
素材の種類、糸、生地についての講義。 素材によるシルエットや着心地の変化、取扱い方の違いを理解。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	繊維製品取り扱い①					洗濯絵表示					
2	1	繊維製品取り扱い②					品質表示					
3	1	繊維製品取り扱い③					洗濯・クリーニング・洗剤					
4	1	繊維製品取り扱い④					保管・手入れ方法					
5	1	繊維製品取り扱い⑤					しみ抜き					
6	1	復習テスト					後期復習					
7	1	総復習テスト					1年生の総復習					
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
留意事項												
講義で習った素材は触って覚えること。 素材感を実感する習慣をつける。 製品品質表示や下げラベルを意識して見ることを習慣づける。												
教材												
文化服装学院編「文化ファッション大系 服飾関連専門講座 1 改訂版・アパレル素材論」(文化服装学院) 関間正雄編「テキスタイ事典」(ナツメ社)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
素材の特性を理解し、素材によるシルエットや着心地の変化、取り扱い方法について説明が出来るようになる。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名		クリエイター						
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○	
講座コード	授業科目名							授業時間数					
C107	マーケットリサーチ							8					
担当教員	伊井 香代美				科目区分	講義		演習	○	実習			
実務経験のある教員等による授業科目	○	国内、および海外アパレルで商品企画、輸入卸販売等に従事。実務経験とブランド知識を生かし、授業では、アパレル業界に必要な知識を様々な視点からリサーチし、習得につなげていく。											
講義目的													
アパレル業界で基礎となるトレンド、ファッション感性、オケーションの知識を学び、またリサーチを通し市場の流れを理解する。													
授業内容													
トレンドの分析方法やファッション感性の種類、オケーションの知識を身につける。 また市場をリサーチすることで、実際の流行やブランドのテイスト、ターゲット層などを理解させる。													
授業計画及び学習課題													
項目	回数	内容					学習課題						
1	1	マーケットリサーチとは					授業内容についての説明						
2	1	最新トレンド情報とは					トレンド情報解説						
3	1	トレンド分析 課題					トレンドを1つに絞り分析、マップ作成						
4	1	ファッション感性8分類とは					各感性について解説						
5	1	ファッション感性8分類 課題					各感性についてマップを作成、まとめ						
6	1	マーケットリサーチ結果分析 課題					リサーチ結果をプリントにまとめる						
7	1	オケーションとは					オケーションについて解説、マップ作成						
8	1	まとめ					これまでの総括						
留意事項													
各項目の解説後、マップを作成し知識を深める。 欠席した場合は次回の授業までに課題を終わらせておくことが必須。													
教材													
最終到達目標													
学習法													
評価方法及び評価割合													
アパレル業界で必要な知識を身につけ、マップにまとめることで応用力を身につける。					講義 課題作成					提出物/期限遵守			100%

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名								授業時間数			
	ファッションカラー								15			
担当教員	西山 マキ				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	チラシ・パンフレットの作成。カラーセラピーを通して舞台美術・衣裳のデザインや制作、カラーコーディネートを行っている。										
講義目的												
<ul style="list-style-type: none"> ・色を細分化し具体的に学ぶことで、色の性質を学習する。 ・色彩学の基礎を習得し、活用する知識を身につける。 												
授業内容												
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の働き、色の三属性、対比現象などを学習し、色の役割や効果を理解する。 ・カラーカードを活用したワークや課題制作で体験的に色を感じる能力を身につける。 												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	STEP1 色彩の役割①					・オリエン ・個人の表現など ・色相環貼付け					
2	1	STEP1 色彩の役割②					・時代の表現など ・明度彩度表貼り付け ・色相環					
3	1	STEP2 色の表し方①					・色の三属性と分類 ・トーン表					
4	1	STEP2 色の表し方②					・色立体 ・トーンの明度 ・彩度貼付け					
5	1	STEP2 色の表し方③					・色相&トーンのイメージ					
6	1	照明と色の見え方					・光と色との関係 ・色名					
7	1	課題制作①					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
8	1	課題制作②					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
9	1	STEP3 色の見え方とイメージ①					・色の対比など					
10	1	STEP3 色の見え方とイメージ②					・色の同化現象など					
11	1	STEP3 色の見え方とイメージ③					・色の視認性など					
12	1	STEP3 色の見え方とイメージ④					・色のイメージ（色相） ・心理的効果					
13	1	STEP3 色の見え方とイメージ⑤					・色のイメージ（トーン） ・心理的効果					
14	1	STEP3 色の見え方とイメージ⑥					・色のイメージとカラー配色					
15	1	まとめ					・前期の復習					
留意事項												
<ul style="list-style-type: none"> ・課題制作では動画を見ながら別端末での制作なのでスマートフォンやタブレット、パソコンを別で用意してください。無い場合は紙を用意して制作しても大丈夫です。 												
教材												
日本色研事業株式会社「ファッション&ビューティーの色彩」 新配色カード(199a)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
ファッション業界に役立つ色彩効果をプランニングし活用できるようにする。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
	ファッションカラー							15				
担当教員	西山 マキ				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	チラシ・パンフレットの作成。カラーセラピーを通して舞台美術・衣裳のデザインや制作、カラーコーディネートを行っている。										
講義目的												
<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の役割と配色技法を理解し、プランニングに活用する。 ・パーソナルカラーや心理的效果を現場実習で活用する。 												
授業内容												
<ul style="list-style-type: none"> ・配色を中心とした色彩効果を、スタイリング分析で理解する。 ・パーソナルカラーや色の心理を通して、色彩の役割を学習する。 												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	STEP4 配色の基本①					・配色における色相の関係					
2	1	STEP4 配色の基本②					・配色におけるトーンの関係					
3	1	STEP4 配色の基本③					・配色と面積					
4	1	STEP4 配色の基本④					・ファッション配色技法1					
5	1	STEP4 配色の基本⑤					・ファッション配色技法2					
6	1	STEP4 配色の基本⑥					・ファッション配色技法3					
7	1	STEP4 配色の基本⑦					・ファッション配色技法4					
8	1	課題制作					・アイテムの検索、収集 ・完成・提出					
9	1	ファッショントレンド					・流行色 ・トレンドの流れ					
10	1	戦後のファッションと美容					・ファッションと美容の歴史					
11	1	パーソナルカラー①					・似合う色とは					
12	1	パーソナルカラー②					・フォーシーズン分類					
13	1	色彩心理					・色の心理効果、感情効果					
14	1	色の役割					・消費者が選択する色 ・生活と色彩					
15	1	まとめ					・1年間の総括					
留意事項												
課題制作では実際に自分が持っているアイテムを使用します。												
教材												
日本色研事業株式会社「ファッション&ビューティーの色彩」 新配色カード(199a)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
配色技法や色彩の役割を学び、ファッションに活かしていく。 色彩検定3級合格を目指す。				講義 テスト				テスト		100%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名							
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C110	西洋服装史							15				
担当教員	筒井 直子				科目区分	講義	○	演習		実習		
実務経験のある教員等による授業科目	○	西洋服飾の研究機関にて学芸員として20年以上勤務。その知識と経験をもとに、西洋服装の歴史並びに実物の詳細を解説する										
講義目的												
西洋服装の基礎知識を学び、時代地域、社会、芸術との関わりを知る。												
授業内容												
古代から現代までの西洋の服飾について、絵画、写真、雑誌、映画などを参照しながら歴史をたどる。その中で基本的な事象や用語を踏まえつつ、衣服自体の構造や構成についても言及していく。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	イントロダクション					歴史衣装を学ぶことの意義とその活用について					
2	1	古代					古代メソポタミア～古代ローマの服装を理解する					
3	1	中世					中世の服装の変遷を理解する					
4	1	16世紀					スペイン、イギリスを中心とする服装の特徴を理解する					
5	1	17世紀					オランダを中心とする服装の特徴を理解する					
6	1	18世紀①					フランスの社会構造と服装の関連を理解する					
7	1	18世紀②					フランス宮廷における服装の実物遺品の詳細を学ぶ					
8	1	19世紀①					市民社会の社会構造と服装の関連を理解する					
9	1	19世紀②					ファッション産業に関する諸事情について理解する					
10	1	19世紀③					19世紀の服装の実物遺品の詳細を学ぶ					
11	1	下着の歴史					主に 18世紀から 19世紀の下着の種口と構造を学ぶ					
12	1	20 世紀前期					デザイナーの活躍と社会的背景について理解する					
13	1	20 世紀中期					オートクチュール全盛期の服装について学ぶ					
14	1	20 世紀後期					プレタポルテが牽引する服装について学ぶ					
15	1	現代とこれまでの総括					歴史を振り返りその活かし方を学ぶ					
留意事項												
授業の中で紹介するサイトや書籍、映画等に出来る限り目を通す事												
教材												
ポータルPDFを添付(深井晃子監修『世界服飾史』(美術出版社)や筒井直子監修『服をめぐる』など)												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
服装の時代的な変遷を理解し、その社会や時代背景を関連付ける。また、その知識をデザインやコーディネートに反映する				授業動画を繰り返し視聴し、用語や事象を復習する。また、西洋絵画や文化に関する書籍や展覧会に触れる事でより理解を深めることができる				提出物		100%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			クリエイター				
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期	○	後期	
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C111	ビジネスコミュニケーション I							15				
担当教員	山本 香理				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目												
講義目的												
講義・実践を通して、ファッションビジネスの現場において求められる社会人としての基礎能力を習得する。												
コミュニケーション力・プレゼンテーション力を向上させるためグループワークを行う。 アパレル企業の仕組みを理解させ希望職種や就職への意識を高める。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	オリエンテーション					授業の進め方・学校生活について					
2	1	自己紹介					グループになり1人1人自己紹介					
3	4	talk personally(面談)					面談にて自分の意見を伝える大切さを学ぶ					
4	1	グループワーク①					グループディスカッション					
5	3	自己分析①					強みや弱みを分析し、対応力を身につける。					
6	2	グループワーク②					グループディスカッション					
7	3	プレゼンテーション②					個人作品のプレゼンテーション					
留意事項												
学生同士でのコミュニケーションを繰り返し意思疎通・情報共有を活性化させる。												
教材												
グループワーク① グループディスカッション												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
コミュニケーション・プレゼンテーション力をつける。				講義・グループワーク・実習				定期課題		100%		

学科名	ファッションクリエイター学科				コース名			クリエイター				
分類	必修	○	選択		配当学年	1	年	学期	前期		後期	○
講座コード	授業科目名							授業時間数				
C111	ビジネスコミュニケーション I							15				
担当教員	山本 香理				科目区分	講義		演習	○	実習		
実務経験のある教員等による授業科目												
講義目的												
講義・実践を通して、ファッションビジネスの現場において求められる社会人としての基礎能力を習得する。												
コミュニケーション力・プレゼンテーション力を向上させるためグループワークを行う。 アパレル企業の仕組みを理解させ希望職種や就職への意識を高める。												
授業計画及び学習課題												
項目	回数	内容					学習課題					
1	1	自己分析(面談)					前期の学びについて振り返り、分析を行う					
2	3	グループワーク③					進路について お互いの考えを交換することで自分を見直す					
3	3	グループワーク④					進路について お互いの考えを交換することで自分を見直す					
4	2	プレゼンテーション③					個人作品のプレゼンテーション					
5	2	プレゼンテーション④					個人作品のプレゼンテーション					
6	2	グループディスカッション					1年間を振り返り情報交換をする					
7	2	まとめ					1年間のまとめ					
留意事項												
学生同士でのコミュニケーションを繰り返し意思疎通・情報共有を活性化させる。												
教材												
最終到達目標				学習法				評価方法及び評価割合				
コミュニケーション・プレゼンテーション力をつける。				講義・グループワーク・実習				定期課題		100%		